

招集期日 平成23年11月11日（金曜日）

招集場所 入間市庁舎5階第1委員会室

開 会 11月11日（金曜日）午後 1時30分

閉 会 11月11日（金曜日）午後 2時45分

出席委員	委員長	金子俊雄	副委員長	小島清人
	委員	石田芳夫	委員	安道佳子
	委員	山本秀和	委員	向口文恵
	委員	齋藤國男	委員	駒井勲

欠席委員 委員 堤 利夫

説明のため出席した職員	企画部長	企画部次長
	企画課長	関係職員

委員会に出席した事務局職員 玉井 栄治 沼井 俊明

△ 開会及び開議の宣告（午後 1時30分）

委員長 ただいまの出席委員は8名であります。定足数に達しておりますので、これより基地対策特別委員会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

欠席の届け出は堤委員です。

△ 議事

委員長 これより議事に入ります。

それでは、お手元に配付いたしました次第によりまして議事を進めさせていただきたいと思っております。

まず、1といたしまして、入間航空祭における要望活動の報告についてを議題といたします。この要望活動につきましては、前回の委員会で要望文を委員の皆様にご確認をいただき、10月25日に航空自衛隊入間基地へ行き、要望してまいりました。なお、その要望書をお手元に、要望の写しをご配付させていただきましたので、ご確認をいただきたいと思っております。

そのときの状況を少し話をさせていただきますと、10月25日に自衛隊へ行きまして、この皆さんにご協議いただいた要望文を持っていきまして、箇条書きのものを、1といたしまして、ブルーインパルス等の航空機の安全飛行の徹底を図ること。あるいは、2として、騒音の発生を極力抑えるよう努力すること。3の周辺道路の混雑等への対応を図ることということで、基地へのお話をさせていただいたのですが、ブルーインパルス、非常に皆様が期待をしていたり何かして、これをやめるといふわけにはいきませんという話をしていたのですが、練習等々は、なるべく控えさせて、させていただきたいという話でありました。この間どこだったでしょう、世界でもまれに見るようだというF-15、部品が空中からおこってきまして、大変だったという話を私のほうからもさせていただいたら、原因がわからないのだそうです、まだ。落ちた原因が。世界でも初めてだったそうです、ああいう事故というのは。そういう関係で、余り軽はずみには言いませんが、一生懸命その原因を究明して、今後はさらに安全に努めていきますということを述べていました。

そして、2の騒音発生という件におきましては、極力練習等々も、例えば回数が10としたら、それを5とか3とかにしてやりますというような状況の話をお聞きしました。その後の周辺道路の混雑等の対応を図ることということは、前年度に1つこれが加わったわけですが、この辺も人の誘導は警備員で賄うと。交通のほう、周辺道路の混雑等々は、ことし、来年もそうかわかりませんけれども、警察に警備をゆだねるということをおっしゃったので、極力市民の目は、そういう混雑をおっしゃいますので、ぜひ努力してやってほしいという話はしてきました、10分、15分ぐらい……

〔(10分くらい……) と言う人あり〕

委員長 それいろいろな話をして、こういう話をして、承知しましたということで、要望にこたえるよう、少しでも届くよう頑張りますという話をいただきましたので、報告をさせていただきますと思います。

そして、また10月12日には、同じく市長が要望活動をしていまして、その内容を、今と余り変わらないかもわかりませんが、執行部から市長の要望活動の状況と航空祭当日の状況について報告を願いたいということで、よろしくお願いします。

企画課長 それでは、私から市長の要望活動の状況と11月3日に開催されました航空祭当日の状況、また前回の委員会でお答えができなかった部分のパトリオット……

〔何事か言う人あり〕

企画課長 それでは、その航空祭の状況につきまして、担当の藤田副主幹より説明をさせていただきますと思います。

企画課副主幹 企画課の藤田でございます。よろしくお願いします。

それでは、資料の5番と6番を使いましてご説明させていただきます。今委員長からもご説明ございましたが、10月12日水曜日、16時から16時30分まで、木下市長が入間基地司令に要望書を提出いたしました。内容については、航空機騒音の増大や不慮の事故等の発生が危惧されるところなので、安全に配慮していただきたいということと、あと冒頭に、ことしから周辺の道路の混雑等の対応についても特段のご配慮をお願いしたいという申し入れをいたしました。

それでは、資料の5番からご説明させていただきます。資料の5番、入間基地航空祭の来場者数の推移からご説明させていただきます。開催日は、すべて11月の3日の祝日ということでございます。平成18年度、平成19年度、平成20年度とちょっと調べました。ということでございます。例年平成18年度が22万人、天候が晴れ、平均気温が15.2度でございます。このときは20万人、平成19年度が22万5,000人、このときも晴れ、13.1度が平均気温でございます。平成20年度23万人、曇り、13度、平均気温でございます。平成21年度22万人、快晴、これは大分平均気温が寒くて8.2度ということでございます。平成22年度が、これが今までで最高に来場者数が多かったということで、28万人ということでございます。快晴、12度でございます。本年度につきまして、平成23年17万人、11万人が昨年度より減っているということでございます。薄曇り、15.2度ということでございます。この来場者数の推移なのですが、昨年度28万人のときにかかなり交通渋滞等がありまして、そこで皆さん大変だったという思いがあったのかということなのか、それとも薄曇りだったので、余り見るのも遠慮したのかというところでございます。結果的なことでございますが、私どもこの渋滞の調査を実施したということでございますが、これは後ほど資料6でご説明させていただきたいかと思

ます。

そして、入間基地航空祭当日の苦情の件数からご報告させていただきます。入間市役所については、問い合わせ等はございましたが、苦情については一切ございませんでした。入間基地については4件ということでございます。これは、入間市民か狭山市民か、ちょっとわからないということでございました。時間については、11時20分から35分、F2戦闘機が飛んだときに爆音で苦情が4件入ったということをご報告を受けております。

裏面、2ページをご説明させていただきます。要望書を提出した結果についてでございます。入間基地のほうに問い合わせ、どのような対応をいたしますかという内容でございましたが、入間基地は、先ほど委員長からも報告がございました、交通渋滞解消に向けて委託警備員に渋滞の情報を収集させるとともに、対策については、警察、狭山警察に要請するというところでございました。その結果、入間基地の副司令が10月31日、直接狭山警察署のほうへ要請に出向いているということをご報告を受けております。

続いて、渋滞が発生する原因分析ということでございますが、大きく1から5番まで考えられるのではないかなということでございます。これは、入間基地のほうからも情報収集した結果でございます。

1番目としまして、臨時電車が増発することによって、稲荷山公園駅横の踏切が遮断されたままだということでございます。当日、通常は10分サイクルで電車が動いているのですが、このときは5分サイクルぐらいになります。5分サイクルで上下線動きますと最大、一番短くて2分30秒しかあかないのが単純な計算でございます。あとタイミングが加わりまして、どのようなあき方ってなるかというのは、ちょっとそこは調べておりません。

2番目の原因としまして、大型バスによる送迎があるということでございます。ここで、私ども初めてわかったのですが、大型バスが100台以上ツアーを含めてくるということをお初めて私どもわかりました。ということでございます。

3番目、普通車の正門前への送迎による渋滞が原因しているということでございます。

4番目、正門付近の交互通行も渋滞の原因の1つになっているということでございます。

5番目としまして、ブルーインパルス飛行時の見物渋滞ということですが、どうしても飛行機が飛ぶと、皆さんそこに注目しますので、車をとめてブルーインパルスを見るということで、そのときにやはりバスが迎えに、送迎が迎えに来ると重なっているということが、よくよくいろいろな基地なり警察の方に聞いたところだと、渋滞の原因の1つになっているのではないかとございます。

そのような中、執行部のほうで具体的に要請、依頼、実施した内容でございますが、1番としまして、基地と協議し、渋滞解消に向けた努力を基地にお願いいたしました。具体的に要請した内容なのですが、各地から来場する関係団体、例えば各地区の交友会等、こういう

団体さんがあるそうなのですが、こういう団体さん約30台ぐらいなのではないかということなのです。正門以外の門を利用させていただきたいということをお願いしたところでございます。調整の結果、帰宅時は、混雑時を外した経路なり時間を選択するというようなことをいただきましたので、渋滞を解消する一要因の1つになったのかということでございます。

あと、2番目としまして、渋滞の詳細な調査をお願いしたいということを要請いたしました。その結果、委託警備員に渋滞の報告をさせるということを基地のほうにやっていただけるということでございます。

3番目としまして、企画課職員による現地調査の実施ということで、当日課長を初め3人の職員が状況調査を実施したということでございます。そちらのほうに資料の6番になります。資料6番をごらんいただきたいと思います。重点的に調査しなければいけないのをAからHポイントまで選定いたしました。Aポイントが入間市役所、Bポイントが学園通り線から入間基地正門に入るところです。新しく信号が設置されたところでございます。Cポイントが彩の森入間公園の駐車場、Dポイントが入間基地の正門前、Eポイントが稲荷山公園の踏切です。Fポイントが狭山保健所の前あたりでございます。Gポイントが産業文化センター交差点、Hポイントが富士見通り線というようなところでございます。写真がございますが、1番からご説明させていただきます。

1番、入間市役所の前でございます。これを見ますと、駐車場はもう既に満車でございますが、警備員に聞きますと、朝4時から駐車するために並んでくるということ聞いております。ただ、あける時間は、通常どおりの扱いだということでございます。恐らく8時ぐらいにあけるのではないかなということでございます。これは昨年度なのですが、昨年度の話ですと、このアスファルトの部分まで車がとまってしまって、ていーろーどが入れなかったというような報告を受けております。今回庶務課等が看板等を設置しまして、アスファルト部分の駐車はなかったと。それによりましてていーろーどの運行には支障なかったということ報告を受けております。

2番目の写真、その右斜め上でございます。これが学園通り線から正門方面に向けている写真でございます。これは、ブルーインパルスが飛ぶちょっと前ぐらいの写真でございますが、もう既に帰りの車、送迎のバスが左側にずっと列をなして並んでいるというような状況でございます。

続いて3番目、右側に行きまして、3番目の写真、一番上のほうでございます。こちらは、正門へ向けての写真でございます。正門の左側のほうなのですが、これは自転車でもうぎっしりということでございます。ブルーインパルスが終わったころは、歩いて帰る方ももうどっと出てくるという状況です。

4番目の写真が彩の森入間公園の中の写真でございます。ごらんになっていただけるとわ

かるかと思うのですが、もう自転車、バイクでもういっぱいな状態でございます。

5番目が、正門付近で警察官、後でご説明しますが、今回狭山警察署がかなり力を入れていただいたような状況でございます。その状況の1つでございます。

6番目が、彩の森入間公園の駐車場でございます。彩の森入間公園、もう既に午前中の段階からいっぱい、もう出れない車がいっぱいあるというような状況なのですが、こういうような状況でございます。

7番目と8番目でございます。これ先ほどもご説明しました、8番目が送迎の車でございます。ここで乗降させます。7番の写真が、その横を通過してしまうような今回措置をしたということでございます。これが今回狭山警察署が交通指導した結果の1つでございます。

9番目としまして、正門付近から、これは産文交差点へ向けた写真でございます。この写真、渋滞をしているのですが、この後、後ほどご説明しますが、警察官が信号操作をしまして、ここの車を全部すぐに出せるような信号操作をしたということでございます。

続いて10番目、左側の一番上になります。これは、稲荷山公園の踏切でございます。10番の写真で警察官が立っておりまして、歩行者と自動車が接触しないよう交通整理をしっかりとしていたという状況でございます。

11番が電車が来ない間に渡っている風景でございます。

12番が東京家政前のところから撮った写真でございます。

13番、こちらなのですが、今回狭山警察署のほうで、一般車両をこの中に、自衛隊正門付近に進入させない措置をしましたので、警察官が立って進入車両を防いでいるというような状況でございます。

14番については、産業文化センター前の交差点で、右折レーンを規制して、車を全部直進させて、進入させないというような状況でございます。

15番でございます。こちらのほうが富士見通り線の様子でございます。特に渋滞している状況ではございませんでした。

16番についても、豊島岡女子高へ向けての写真でございますが、渋滞している状況はございませんでした。

17番については、配水場の前から撮っておりますが、特に渋滞はしておりませんでした。

この結果なのですが、基本的に地図上で赤い部分が渋滞をしたという状況でございます。踏切の影響は、おおむね狭山経済高校の前ぐらいまでで渋滞は終わっているというような状況でございます。黄色い部分が若干混雑はしているという状況ですが、渋滞という状況ではないということでございます。正門前の部分なのですが、こちらはバスと関係者の駐車車両による渋滞ということでございます。今ご説明したけやき通り、463号、富士見通り線、私どもブルーインパルスが飛び終わった直後から大体3時ぐらいまで自転車で踏査しました

が、渋滞らしいものは発見されなかったということでございます。

どうして渋滞しなかったのかということ、基本的にその来場者が少なかったのかなという話もございますが、やはり資料のほうに、狭山警察署が実施した対応ということもございます。その内容なのですが、1番から6番ぐらい主なものがございます。対応署員を相当増員させたということを警察官のほうは話しておりました。正門や彩の森入間公園、学園通り線で警察官による交通規制、産業文化センター前で所沢方面から右折車両の禁止等、あらゆる措置を講じていたという印象がございます。

2番目、交通規制の実施ということで、正門前へ乗用車の乗り入れを禁止させたと。送迎バスの一方通行を実施させたということもございます。これは、交互通行になりますと、渋滞の原因となりましたので、一方通行を実施させて渋滞を早急に解消させたというような措置をしたということもございます。あと、観光バスの対策としまして、ツアー会社の方とお話する機会がございました。その会社のほうは、65台バスを入間基地航空祭に持ってきていると。それは、横浜市、東京都、神奈川県、関東各地からバスを合計65台ぐらいと。そのほかのツアーの会社の部分で合計すると100台ぐらいになるということもございます。先ほど写真にもございますが、7番、8番の状況です。乗車するバスを決めて、そのほかのバスは、左側を通して滞留させないというような措置を実施したということもございます。

5番目、普通車の進入禁止でございます。普通車を進入させて、それが見物渋滞につながるということが渋滞の原因の1つであったということもございます。一切普通車は、ブルーインパルスが終わって混雑時には、入れなかったというような取り組みを警察が実施したということもございます。

最後に、踏切における交通障害の解消ということで、ちょうど狭山経済高校ぐらいまでで渋滞が終わっているというのが、警察官ですね、例えば自転車で私たち先ほど踏査したと言いましたが、自転車で通っていると、自転車をおりなさいという指導がございまして、踏切を渡る時は、必ず徒歩で渡らせるような措置をやっておりました。それと、基地の警備員と協力しながら来場者をさばっていたと。指導していたというような状況でございます。結果からしますと、やはり要望書を提出したことが非常に大きく、このような結果につながっているのではないかなというような分析をしまして、交通渋滞のご報告とさせていただきたいと思えます。

以上で終わります。

委員長 ありがとうございます。ただいま入間航空祭における要望活動の報告ということで報告をしていただいたわけですが、何か皆さんの中でございますか。非常に要望書を出した成果があったというようなお話をいただいているわけですが、ありますか。

山本委員 おおむね大変ご苦労いただいて、大変スムーズな処理ができたのだろうというふうに思っ

て敬意を申し上げたいと思います。1点だけ、来年以降もこれ強化の参考にして続けていただけるのでしょうか。来年以降の取り組みについて、何か決まっていることがあればお知らせいただけますか。これだけいいことだから、続けてもらえるのが一番いいと思うのですけれども。

企画課長 今回この調査を行った後に、また自衛隊のほうも警備のほうが出ておりますので、その辺のデータもいただくような形で、自衛隊とも調整をしていきたいと思っています。その中で、今後その来年に向けてもどのような対策をとっていかと、継続していくのだと、また反省点も踏まえて、その辺も検討していきたいというふうに考えております。

委員長 ほかにございますか。

小島委員 大変ご苦勞をされたところが見えているのですけれども、ちょっと1点、入間市の、ここにも出ていますけれども、市役所の駐車場、それと体育館の駐車場、それと市民会館の駐車場、これは特に体育館の駐車場の場合には、あそこへ入れさせないように、もう朝早くから係員の方が門の前にいたりしていたのですけれども、市民会館の場合の駐車場は、あれは開放している形になっているのでしょうか。

企画課長 開放はしていないと思います。

小島委員 というのは、市役所の前がいっぱいになると、八王子ナンバーだとか他県の車が大分とまわっていて、あそこで事業がやっていなかったからいいのですけれども、多分見ればもう午前中にあそこもいっぱいになってしまっていて、私ちょっと用があつて行ったら、ほとんどもう他県の駐車場として使っているのです、できれば、もし交通渋滞等を考えれば、あそこも開放しているような形を見せれば大分、富士見公園のところ駐車場狭いところにもう朝から並んで、あそこへ入れていく方もいらっしゃるし、そういうことを考えたら、もう少し市のほうでもその徹底した対策をとってほしいというところがありますので、要望としてお願いをしたいと思います。

企画課長 それでは、その辺のご意見を踏まえまして、基地のほうとも調整をしていきたいというふうに考えております。

委員長 よろしいですか。

小島委員 はい。

石田委員 駐車場や何かも不足しているので、基地の中には何台かとめたのですか。

企画課長 一般車両は入っておりません。基地の交友会関係のバスを30台ぐらい毎年入れているというところでございます。

石田委員 調べればまだかなり入れられる用地いっぱいあるのではないかなと思うのだけれども、その辺はむしろだから、入間基地でやるわけだから、できるだけ基地の中に一般車両をどんどん入れて、周りに迷惑かけないようにやっぱりやってもらうのが基本だと思うのですけれど

も、その辺は今後申し入れしていただけないでしょうか。

企画課長 今のご意見につきまして基地のほうとも意見交換をしていきたいというふうに考えております。

石田委員 いいです。

山本委員 今の関係でいくと、ことしが去年のリバウンドでお客さんが減ったというような分析がありましたけれども、それでいくと来年またリバウンドで多分お客さん、お天気次第ですけれども、ふえるかもしれないということを考えると、今の問題というのは、来年に向けての大きな課題になるかなという印象を持つのですけれども、市民会館だとかの駐車場もそうなのですけれども、少し離れたところにどかんと大きいところを用意して、そこからシャトルでつなぐか何かみたいなことも考えたほうがいいのかみたいな気がするのですよ。できれば北口の区画整理でどかんとあいているところとか、まとまった土地なんかで臨時的な駐車場をどかんとつくって、幹線道路沿いでね、そこへ全部車を押し込んでしまうようなことで、シャトルでつなぐとかいったようなことで考えたら、もう少しよくなるかなという気もするのですけれども、その辺もあわせて、来年に向かってちょっとご検討いただけたらと思うのですけれども。

企画課副主幹 その話は、パークアンドライドができないかという提案はさせていただいたのですが、ちょっと何しろ基地のほうからすると準備不足だということで、今回は見送られた経緯はございます。

それとあと、横田基地の例なりを挙げたのですが、やはり電車を使ってくださいというようなことで、横田のほうはお願いしていると。それで、横田基地のほう、牛浜駅の利用、かなり高くなり過ぎて、非常に事故が起こりそうな状況になっているので、東福生なり、福生の駅に分散して横田基地の航空祭ですか、利用していただくようにしてやっているということなので、大分入間基地も都市化が進んでいて、余裕のある駐車場等がないというのは、もう皆様ご存じのとおりかと思っておりますので、入間基地のほうにやはり電車を使ってご来場いただくようなことを早目にアピールしていただくというようなことは、お願いしているという状況でございます。

以上でございます。

委員長 よろしいですか。ほかにございますか。

〔発言する人なし〕

委員長 いろいろ要望等々がありましたので、ぜひ来年に向けて大いに検討していただきますようにこれからもお願いしたいと思っております。

それでは次に、パトリオットミサイルの運用についてを議題といたします。これについては、前回の委員会で回答が保留になっている項目がありますので、説明をお願いしたいと思います。

います。

企画課副主幹 それでは、前回お答えできなかった部分についてお答えさせていただきます。

内容につきましては、訓練時における実弾の装てんの有無でございます。それと、弾道ミサイルを迎撃する際、標的を外した場合のミサイルの状況はどうかということでございます。いずれも基地対策班を通じまして回答をいただきました。

まず、1点目の訓練時の実弾の装てんでございます。訓練時は模擬弾を装てんしております。当然誤発射等の事故を起こさないように模擬弾を装てんしているということでございます。それでは、実弾を装てんするのはいつなのだというようなことは、質問させていただきましたが、防衛大臣による破壊措置命令というものが、これ自衛隊法第82条の2にございまして、数年前に弾道ミサイルが飛んでくるといときに発令されたものと全く同じなのですが、そのときに実弾を装てんするというような回答をいただきました。ですので、通常時、心配される誤発射の事故とかというのは、基本的には模擬弾でございますので、そこは推進力はありませんので、発射されないということでございます。

2点目でございます。弾道ミサイルを迎撃するときに、その標的を外したときに、そのミサイルはそのままどこに飛んでいってしまうのだというご質問だったと思います。これも、基地対策班を通じましてご回答いただきました。ちょっと回答のまま、そのままお答えするのですが、パトリオットPAC-3は、標的を外さずそのまま当たるのだというのが基本的な考えだということだそうです。それはないでしょうということで、非公式にということなのですが、自爆装置はついてますということでございます。そのときに自爆装置はついてるということで、外れた場合は、自分で爆発してしまうというような回答をいただきました。

以上でございます。

委員長 ただいまの説明で何か質問等ありますか。

〔発言する人なし〕

委員長 なければ次に進みたいと思います。

次に、3の今後の検討課題についてを議題といたします。

当委員会では、入間市駅側留保地、自衛隊病院を含めた東町側留保地、騒音問題をテーマとして協議を進めるものですが、並行して基地問題の調査研究も必要かと思えます。つきましては、先日執行部と正副委員長で調整をさせていただき、幾つかの調査研究課題を挙げさせていただきました。

まず、研究課題について事務局より説明をさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。ではお願いします。

議会事務局主幹 それでは、お手元に基地対策特別委員会調査研究課題というものがお配りされてい

るとと思いますが、そちらのほうでご説明をさせていただきたいと思います。

まず、1番の横田基地の様態変化についての視察ということでございます。内容といたしましては、米軍再編に伴いまして、横田基地の基地機能の様態変化を視察しまして、航空自衛隊の航空総体司令部移駐後の基地使用について、周辺自治体といたしまして、その状況を調査して現状を把握したらどうかというような内容が1点目でございます。

2点目といたしまして、他の基地見学ということで、百里基地民間共用化事業の視察ということで、軍民共用と申しますか、そういったところの施設、こちらについて、百里飛行場や小松飛行場、米子飛行場ですか、そういった空港について、国土交通省が事業主体として整備を行っているようですので、そういったところを視察して状況を確認するのはどうかということでございます。

続きまして、3点目といたしまして、C-1輸送機の後継機C-X輸送機の研究ということで、こちらにつきましては、中期防衛力整備計画、こちら平成23年から平成27年で計画されております老朽化に伴うC-1輸送機の後継機が開発されまして、その試験飛行が行われております。今年度中にも国内自衛隊基地に配備される計画がございまして、その後継輸送機の研究を、防衛省の説明をいただきながらしていったらどうかというような提案でございます。

4点目といたしまして、東日本大震災にかかわる入間基地の役割といった、こういった研究ということで、こちらにつきましては、東日本大震災における入間基地の役割を入間基地から説明をいただきまして、大規模災害時に果たす基地機能と地元自治体が入間基地をどう活用できるかと、こういったことを調査研究したらどうかというご提案でございます。

以上でございます。

委員長 今玉井主幹のほうから説明ありましたのですけれども、執行部は、何かこれに補足はありますか。

企画課長 特にございません。

委員長 今後特別委員会で3点のテーマがあるわけですが、それに向けて、こういうものはやったらどうだということで、今研究課題として説明があったわけですが、この関係で何か皆様の中にありますか。

もちろんあれは続いているわけだね、留保地の関係はね。

〔(はい、引き続いて) と言う人あり〕

委員長 引き続いてね。前年2年のものは、やってきたものに、また今年もさらに継続してやっていくということですので、それにつながっているわけだね。つながっているものは、もちろんつながっているのですが、そのほかこれをどうですかということですけども、前回一番初めのころ、横田基地を視察したらどうだというような話もあった関係で、こういうもの

は持ってきたというのは理解をしていただきたい。

それで、その下の基地の見学ということで、今の説明あったのですが、民間の共用化の事業を視察する。視察ということは、バスか何かで行くのでしょうかけれども、1日で、これはちょっと聞きたいのですけれども、1日で行けそうですか、この百里というのは。

企画課副主幹 茨城県でございまして、朝、市のバスなりをチャーターしまして、それで現地、恐らく3時間、4時間ぐらいかかるかと思えます。そこで視察をしまして、また夕方に帰ってくるようなスケジュールになるのではないかなというふうなことを考えております。

以上でございます。

委員長 2の他の基地見学ということは、そんなことで今説明あったような状況なのですけれども、ほかに、これはやらなくたっていいと言え、これでやらなくても構わないしということなのですけれども。

石田委員 1つ横田基地をこうやってみるときに、横田基地を抱える自治体の対応というか、何をやっているのか。例えば、昭島だとか、そういうところの自治体では、この基地の問題でどんな問題取り組んでいるのか。その辺も行くとなんか勉強になるのではないかという感じがするのです。ちょっとこのこっちは、とかく自衛隊の基地ばかりが頭にあるけれども、横田も空域こっちに入ってきているわけだから、そこの地元の自治体の取り組み、どこでもいいのですけれども、福生でもどこでもいいのですけれども、それも加えて一緒にやったらどうかという。

委員長 今石田委員のほうから、横田基地の視察を絡めて近隣のどこかの自治体を一緒に視察、あるいは説明を聞けないかというお話ですね。そんなことは大丈夫ですか、執行部のほう。

企画課長 これは、可能かと思えます。

委員長 可能だそうです。

石田委員 もう一点いいですか。これと別でもいいのですか。

委員長 いいです。何か意見がありましたらやっていただいて。

石田委員 1つは、その留保地の関係で、これちょっと調査も必要なのですけれども、実際に最初3分割でやって、留保地になったところを今度その払い下げが始まっていますよね。その払い下げの取り組みというのかな。だから、入間だとこと2カ所になっていますけれども、立川あたり、立川だったかな、あそこへ行くとまだ90ヘクタールぐらい留保地があって、その活用を始めているのですよね。向こうも3分割で最初にやったわけです、分けてね。使ったのだけれども、留保地として残されたものを、今度は再度その辺の利用が、元の立川飛行場の跡だから広いのですね、500ぐらいあるのかな、もともとが。まだ90ぐらい残っているのではないかと思うのです。だから、立川飛行場留保地に係る利用計画なんての、こういうの何かできているのですね。それで、かなり大規模な形で活用しようと。だから、払い下げ

の条件だとか、その辺も具体的に単価だとか、そういうのもこっちのほうが高いのでしょうけれども、わかってくるのではないかなという感じがするのですけれども。執行部のほうで何かそういうほかの自治体での払い下げのもの聞いています。

企画課副主幹 大口財産の返還跡地の処理ということで、ホームページをやりますと、立川飛行場から関東近県の11跡地に、地元利用の部分のところ、留保地全体の部分、国利用の部分ということで掲載はされておまして、私どもでそのあたりどのような活用計画があるのだということで、状況を電話程度なのですが、聞いております。例えばなのですが、柏ですと柏通信所というのがあったのですが、すべて東大、東京大学が行っておりまして、東京大学に全部渡してあって、地元ではもう一切、こういう財政状況なので、手をつけられませんというような話とか、あと、ひたちなか市に、水戸の射撃場があった跡地なのですが、ここも平成20年以來一向に地元利用が進んでいないと。やっぱりこういう経済状況であるというようなことは、電話の程度でちょっと聞かせていただいているというような状況でございます。

以上でございます。

委員長 基本的には、跡地利用が継続してやっているということですので、それに絡めているということですから、今の立川も含めてなのですが、柏のほうの話も、柏はだめだって言ったっけ、今の話だと。

企画課副主幹 柏はすべて東京大学が行っております。地元利用のところは、もう既にないということでございます。

委員長 立川は、今の石田さんの話。

企画課副主幹 立川でございますと、23ヘクタールまだありますということでございます。その平成20年6月26日現在のこの資料でございます。

委員長 皆さんの中でありますか、それに絡めた。

駒井委員 前基地対で柏と立川行った件があって、柏のほうは柏レイソルとか、サッカー場なんかもみんな基地跡地利用で、小学校があったり、柏は多分もう使うところがなくなっていると思います。あと、立川のほうについては、まだ立川市役所の移転前だったので、今23ヘクタール残っているということなので、あれは国立の公園……

〔(昭和公園) と言う人あり〕

駒井委員 あれとか病院とか、あとヘリコプター基地、あの辺がみんなそうで、あとモノレールの駅のところが100メートル道路みたいな、何か道路部分については、無償で提供するということがあったり、参考にはなるのではないかと思います。まだそのときには市役所が前のところで、今の新しくなったところでなくありましたけれども。まだ23ヘクタール残っているということになれば、その利用とか、値段とか、いろいろわかるかもしれない。市役所が多分買って出たのではないかと思うのです。

委員長 絡めてやりましょうか。

〔(比較的近くて行かれるのだったらさ) と言う人あり〕

委員長 近くて日帰りだからね。

〔(横田にしろ)(横田も立川も) と言う人あり〕

委員長 立川も。

石田委員 昭島行けば両方わかるかな。昭島も留保地が、まだ多くありませんか。立川飛行場が昭島と立川だから、横田みたいに一緒に、両方というような話もできるかもしれない。

委員長 だから、この(1)の関係で、できないこともないのだね。(2)は別に行かなくたっていいわけだから。どうですか、皆さんは。

今の3点、基地視察、そして近隣の市、それから立川市役所と、立川飛行場の払い下げの関係ね。そういうそんな話が出ているのですけれども、どうですか。1つ何か実行して、その単価の問題なんかもちよっと聞きたいのですよね。どういう払い下げの仕方をしているのか。インターネットに出ているか何だかわかりませんが、そのもっと突っ込んで話を聞くには、視察したほうがいいよね。

山本委員 おおむねそういう方向でお出かけする分には構わないというふうに思うのですけれども、石田さんのほうから確かな話が出たので、それはそれで非常に有意義だと思うのですけれども、留保地の関係で、私は朝霞を考えていたので、朝霞の関係、今ちょっと非常に渦中の問題になってしまっていますけれども、同じ県内で似たような、町の真ん中にどかんとあいているところでしたから、朝霞市さんのほうでも、公共施設等々いろいろ公務員宿舎の問題ありますけれども、それ以外の利用も相当考えておられたようなので、朝霞もどうかなと思ったのですけれども、立川で1本ですうっとまとまるのだったら、まず立川行かれたらいいのかなという気がします。

それと全く別の関係で、いただいた資料の4番なのですけれども、大震災の関係での基地の関係の取り組みというのは非常に、基地所在市でまた言う立場から考えると、一度きちっと整理をする必要あるだろうと思うし、それに付随して自衛隊の災害出動の関係、きちんと正規の市町村長、あるいは都道府県知事から依頼が出て災害出動するケースと、あと基地司令なり隊員の判断で出ていける希望出動のケース、自衛隊法83条だったか85条だったかの関係等々あろうかと思うので、市民との関係ということで考えたときに、自衛隊の今回の大震災に係る災害派遣のことで、もし研究するのであれば、あわせてその部分のロジックもきちんと整理をして、うちの市の中で何か大きなことがあったときに、どういう動きをしてもらえるのか、あるいは何が期待できて何が期待できないのかという部分について、きちっと整理する場を持たれたらどうかなという気がしました。

駒井委員 入間基地で、今山本委員が言われたようなことを聞くのも1つだし、またその上の3のC

ーX輸送機ですか、その件についてもあわせて課題になっていることですから、聞けるのではないかとは思いますが。

山本委員 済みません、CーX今たしかFーXと一緒に今選定中のような気がするのですけれども、これちょっと不勉強で違っていたら申しわけないのですけれども、これCーXの中にオスプレイって入るのでしたっけ。

企画課副主幹 CーXはCー2でございまして、今試作機が岐阜で試験飛行をしています。今オスプレイのほうは、CHー47の後継機というふうに見ていますので、やはり沖縄に米軍が配備するということは、話になっているのですが、ちょっとその信頼性が非常に危ういのではないかという話が今出ていて、そういうところでもございますが、自衛隊の中で導入するという話は、一切まだ出ていないかと思えます。

以上でございます。

委員長 いずれにしても、自衛隊は導入したいというような話は、情報的にはあるの、このCーXの。

企画課副主幹 今のCーXというのは、具体的にはCー2というふうに、今Cー1の後継機のCー2ということ指しておまして、このCーX、今先ほど言った、恐らくアメリカ軍でCHー47なりバトルという同じようなヘリコプターがあるのですが、その後継機でオスプレイという両翼、ヘリコプターのような飛行機のようなヘリコプターのようなものが沖縄のほうで取りざたされているだけで、自衛隊が具体的に入れるなんていう話は、一切今のところないというのが現状でございます。

以上でございます。

委員長 どうですか、今の話。大体まとまってきましたので、そんな感じで、やっぱり現地視察というか、視察するのも1つかなというのがありますので、1と2の絡めたものという考えを持ってもらえば、先ほど言った意見が十分できるのかなという、留保地の関連も含めて。それで、山本委員のほうから出たその(4)の関係も、これも大事なことだと思うのです。ですから、これは自衛隊なりなんなり、行くなり来るなりしていただける。では来ていただける、そんなこともできるわけだよね、委員会の中でね。朝霞の問題も、新座か、新座の問題ですか……

〔(朝霞) と言う人あり〕

委員長 朝霞か。朝霞の問題も、今意見に出ているわけですが、そんなに一遍にできますか。できないです。何か日にちを変えていつかまた。やっぱり朝霞もいいのかなという。

石田委員 もうちょっとその中身調べてもらって、どの辺まで話が進展しているのかによって。

山本委員 その辺、朝霞のほうは煮詰まってからでいいのかなという気もしますので、念頭にだけ入れておいていただいたらいいのではないですか。横田行くという前提で話すれば、それは当

然立川とか昭島のほうは、それは一回りで行ってこれるわけだから、まずそちらに行かれたらいいのだろうなというふうに思います。

ただ、百里の話が出ていますが、これも不勉強で申しわけないのですが、百里基地って茨城空港ですよ。横田の軍民共用かどうか、入間基地の軍民共用かどうかの話って具体化していたのでしたっけ。横田はポシャったような話も聞いているのだけれども、その辺どうなのでしょうね、今のところ。

企画課副主幹 特に横田の軍民共用が石原都知事が乗り気だったと思うのですが、ちょっと話が今出ていないと思いますので。あと、周辺自治体のこの反対というのが、瑞穂町初め武蔵村山、非常に強いということをお聞きしておりますので、特段進んでいるという話は、聞いてはおりません。

以上でございます。

山本委員 説明の中で、小松とあと美保基地の話を、米子空港、美保基地の話も出ていたけれども、うちの市として、その例えば入間基地の軍民共用化を進めるとかいう話であれば、それは百里とか、それこそ美保基地とか、見に行くのは、非常に有意義なことなのかもしれないのですけれども、具体そういう話があるわけでもなく、滑走路総延長2,000だから、やれぬことはないのしょうけれども、これだけ滑走路のすぐ先に家が建て込んでいて、なかなかできる話でもなからうという気もするので、これ軍民共用化で視察行くのは、ちょっとどうなのかなという気がちょっとします。百里とかだと、違う目的で行くのだったら、またそれなりに有意義な話もあるかなとは思っているので、否定はしないのですけれども、ちょっと民間共用という話になってくると、ちょっとまた非常になかなか難しいのかなという気がちょっとしました。否定はしませんけれども、むしろその今出ている横田とその立川の関係の話、あとあれですよ、災害出動の関係のお話をに入れていただいて、その災害出動の関係で入間基地へ行くのであれば、そこでC-2の話も聞けるのだったら、あわせて聞いてくるとかの形で、2本で考えられたらどうかなという気がしますね。

石田委員 災害の関係でいくと、1つは立川断層、これで立川もあるわけで、向こうもそれなりの町の中を断層が通っているのだから、だからそういった意味での視察もできるかもしれない。自衛隊にいろいろ話を聞く場合、協力関係を知る場合でも、立川断層は立川断層でもし災害が起きた場合にどうなるのかってある程度想定して、どこまで協力を得られるのかと聞いたほうが現実的だよ。そうでないと向こうも答えようがないのではないかなという感じしますよね。

駒井委員 前に行ったときに、あその立川のところに病院があって、それでその辺の全部使っていないで、東京で災害があったときに、そこが病院として指定されて全部使えると。あと、ヘリコプター基地がすぐわきにあって、輸送できるような話は聞きましたので、そういうふうな

災害の話も市役所で聞けるのではないかと思います。

石田委員 跡地利用とか災害の対応も……

駒井委員 そうそうそう。

委員長 話がある程度出尽くしたような気がするのですが、この辺でしてしまってよろしいですか。

〔(はい) と言う人あり〕

委員長 そうしますと、1から4までを今後の研究課題というような感じで挙げたのですが、どうも2は民間共用化事業、私なんか個人的には、民間機が入ったほうがいいなという感じもあるのですが、それもいきませんので、これは、ある面では、もっと向こうに必要であるならば、いつでも視察できるチャンスがあるのかなという感じがありまして、これは没とされていていいと思うのですが、今1の横田基地の關係に絡んで、いろいろな關係が生まれたので、この辺をまとめて視察をさせていただくと。日程は、ある程度情報をとってから決めてもらったほうがいいのか。日程はどのようなのですか、事務局は。

議会事務局主幹 今ご決定いただいた横田基地、あるいは立川市での一緒に視察をするという形の日程だと思うのですが、1月の後半から2月にかけての、時期的にはそのぐらいの時期がよろしいのかなと思うのですが、当然受け入れ先の都合もございますので、そういった中で可能な日で設定させていただいて、ご連絡を差し上げるというような形をとりたいと思いますが。

委員長 そんな状況でよろしいでしょうか。

〔(はい) と言う人あり〕

委員長 その東日本の關係、災害の關係なのですが、これもちょっと知っておきたいなとか、どんな状況なのか、その聞きたいなという感じがありますので、この辺は向こうからおいでいただくわけにはいかないのよね、基地のほうから。基本的には来ない。

企画課長 どちらも可能かと思います。また、出向けば中の状況もわかるというようなこともあるのかなというふうに考えます。

委員長 どちらでも可能だそうですね、出向いたほうがより細部にわかる可能性ありますよね。また日を改めて出向きましょうか、こちらから。

〔(はい) と言う人あり〕

委員長 その日程もどのようなのですか。

議会事務局主査 横田の關係もあるので、ちょっと長期的に、少し余裕を見ていただければとは思いますが、どちらを先にやるかということあると思いますから。

石田委員 場合によったら3月議会の山越してからでもいいのではない。

委員長 それでもいいのだね。もう一年あるのよね、これは。跡地利用は、そのままどんどん、

どんどん押していったいいよね。では、そんな関係でいきたいと思いますが、どうでしょう皆さん。

〔(いいです) という人あり〕

委員長 1番のほうの関係が、いろいろな関係が入ってくる意見の中のもの、1月の末から2月の初めに日程組ませていただく。4のほうの関係は、時によれば3も絡んだ話になるのかもしれないが、あるいは今の立川断層の関係も含めた話に聞けるかはわかりませんが、3月の議会の終えたごろですか、それとも議会中ですか。

〔(終わってからのほうが……) という人あり〕

委員長 終わってからのほうがいいのだよね。

〔(一般質問が終わってしまえば、その後は結構あいたりするんだよね、委員長以外は) という人あり〕

委員長 では、そんなぐあいでは、大体の予定はそんなぐらいでよろしいでしょうかね。

〔(はい) という人あり〕

委員長 参考のために、跡地利用の駅前と向こうの関係は、何か進展しそうな気配とかにおいと、そういうものがありますか。

企画課長 現状ではその進展がございません。そういうにおいも出てまいっておらないという状況でございます。

委員長 わかりました。

石田委員 自衛隊病院の関係は、問い合わせや何か来ていませんか。動きありますか。

企画課長 東町側の話かと思えますけれども、これにつきましては、県のほうからも情報はございません。

委員長 そうということであるならば、引き続きそれらも含めて検討、一生懸命会議して、基地対策の特別委員会で検討してということよろしいでしょうか。

〔(はい) という人あり〕

委員長 それでは、次回の委員会、この次回の委員会の日程はどうします、決まるの。その視察のときに委員会というようなやり方してしまっているのかな。12月議会にやります、どっか、それともやるのですか。

議会事務局主幹 今当面この視察で現地を見て研修していこうというふうにご決定をいただいたと思ひまして、開会中は見送られて、その1月の視察が委員会として活動されたらよろしいかなと思うのですが。

委員長 そうですか。では、そんな。そのような今事務局の説明なのですが、それでよろしいでしょうか。

〔(はい) という人あり〕

委員長　それでは、その他で何かございますか。

安道委員　ちょっとお聞きしたいのですけれども、この間、航空祭前に訓練飛行が頻繁にあったわけですが、夜間飛行も何回かあったと思うのです。東町周辺の方から、夜間飛行をする際は、事前に何かお知らせがあるのだけれども、この間お知らせがなくとも飛んでいるのだけれどもというふうな声があるのですが、その辺のところは、今状況はどうなっているのでしょうか。

委員長　何かわかりますか。

企画課副主幹　夜間、時間外飛行の防災行政無線の放送というふうな話だと思っておりますが、四、五年前に放送はもう、苦情によって打ち切られたというのが現状でございます。その放送をするのが毎日非常にうるさいというお話が来まして、恐らく4年か5年前にもう既に打ち切ったというような状況だと思います。現状だと、もう既にやっていないのですが、ただ回数が多いときだけなのです。10機以上飛ぶときは放送するというようなものは残っております。でするので、1日1回でも飛んだときは、四、五年前までは放送はしたのですが、苦情がありまして、これも東町の方からなのですが、非常に放送がうるさいということで、取りやめた経緯がございます。ただし、回数を飛ぶとき、10機以上飛ぶときは放送は残しておりますので、一切やらないという状況ではございません。ただ、10機以上飛ぶというのは、極めてまれな状況でございます。ということでございます。ただ、ほかの市民の方からも、そのようなご要望というのは、私どもにも入ってきてはおります。

以上でございます。

安道委員　市民の方から、以前はちゃんと知らせがあったのに知らせがなくなっているけれども。自分たちには何の知らせもないのに飛んでいるのではないかみたいな声は、何回か聞いているのです。だから、その辺の対応というのは、どうなっていたのかとか、市民への周知というのも含めてどうなのかなというのがあったので、その辺は対応として、この地域の方々へのそういうふうなお知らせというのは、今まで何かの方法でやっているのでしょうか。

企画課副主幹　防災行政無線の運用面のところでございまして、広報広聴課のほうで、恐らく防災行政無線の放送の変更というのは恐らく、調べてはいないのですが、広報紙でお出ししているのかなという、これはちょっと調べていないのですが、わからないのですが、その辺は推測はできるところでございます。

それとあと、非常に時間外飛行地区という場所、設定して十数本、125本の防災行政無線のうち、東町部分十数本だけの限定放送でございますので、恐らくその防災行政無線の下に住んでいる方が、やはり毎日4時半ぐらいに鳴るといことなので、ほぼ毎日のような状況だと思いますので、その方がちょっとまいったということを考慮に入れて、恐らくそういう放送回数は減るような、減らすような運用をしているというような形に至ったと思います。

以上でございます。

委員長 よろしいですか、安藤委員。

安道委員 はい。

山本委員 今回の件ですけれども、確かに基地のホームページを見ていると、基地のホームページだかどこだったかで、一応時間外飛行の定例日みたいのが週3回決まっていたと思うのですよね。月、火、木、月曜と火曜と金曜だったのか、火曜と木曜と金曜だったのか、ちょっと忘れましたがけれども、定例日が3つあって、それ以外の日もやるかもしれないみたいな話で、多分月、金ずっとやっているという話なのだろうと思うのですけれども、推測ですけれども、その概要みたいなものを、例えばもう地域限られていますから、回覧で回してもらおうとか、あるいは市報の欄外で結構なので、時々載せてもらおうとか、何かそういったことで告知をしていただけると少しましになるのかなんていう気もするのです。確かに、うるさいですよと言って言って回るのもうるさいという話であると、確かにどうもわからない話ではないので、音でうるさければ紙で回すしかないと思うので、ちょっと市報の欄外かどっか活用していただくか、あるいは回覧板か何かで、自治会の皆さんにちょっとご苦労いただいて、時々季節の変わり目ぐらいに回すとか、何かそういった形でちょっと訓練概要なみたいなところを告知していただけると、少しは苦情が減るかなという気もするのですけれども、その点いかがでございますでしょうか。

企画課長 手法等検討させていただきたいと思います。

委員長 よろしいですか、山本委員。

山本委員 はい。

齋藤委員 ちょっとわからないのですけれども、夜間飛行というのは訓練ですか。そうではなくて緊急のときのあれですか。どうもその、うちの上なんかたまに通るのですけれども、どうも訓練ではないような、緊急のときのような感じを受けるのですけれども、その辺はいかがですか。

企画課副主幹 基本的にはタッチアンドゴーの訓練が主な部分でございます。ただ、委員さんおっしゃるように、緊急でどこか飛び立たなければいけない、震災の関係、緊急で飛び立たなければいけない事態もあると思いますので、その辺は訓練が主な部分なのですが、中には委員さんおっしゃるように、緊急で飛び立つ場合もございますということでございます。

齋藤委員 私も訓練だと、今山本委員がおっしゃったように、何曜日と何曜日と違って、そんな感じ受けません。私のところはちょうど通りますからあれなのですけれども。でもわかりました。

委員長 よろしいですか。

齋藤委員 いいです。

委員長 ほかにありますか。

議会事務局主幹 先ほどの視察関係の日程と視察事項、視察内容、視察場所、これについて、正副委員長一任ということで整えたいので、よろしくお願ひしたいと思うのですけれども。

委員長 今事務局から説明があったのですが、その今の皆さんの話の意向を取り入れたもので視察をさせてもらうということで、正副一任でよろしいでしょうか。

〔(はい) と言う人あり〕

山本委員 おおむねそれで結構なのですけれども、個人的な事情でちょっと申しわけないのですけれども、1月の17日の前後は、ちょっと外へ出てしまっていますので、1月16日から20日の週は、ちょっと外してください。

委員長 個人的に視察か何かがあつて……

山本委員 ちょっと阪神・淡路大震災の日ですので、ちょっと毎年里へ帰ることにしていますので、ちょっと向こうの慰霊祭に出たいものですから、その前後はちょっと帰らせていただきたいので、20日ぐらいまではちょっと外してください。申しわけないです。

委員長 ほかにありませんね。

〔(はい) と言う人あり〕

委員長 なければ、それでは、そのような方向でよろしいでしょうか、正副でお任せいただいて。

〔(はい) と言う人あり〕

委員長 では、正副で内容を絞りまして決めさせていただきたいと思います。皆様方のご協力をお願いします。

△ 閉会の宣告（午後 2時45分）

委員長 それでは、これをもちまして基地対策特別委員会を閉会いたします。

本日は執行部の皆さん、皆さん、ご苦労さまでした。

△ 署名

以上審査の次第は、正確なることを証するため、ここに署名する。

基地対策特別委員会委員長 金子俊雄